

祈りのかたち「奥の院」

仏教美術の世界



国指定重要文化財
木造兜跋毘沙門天立像（複製）
（藤里毘沙門堂）

江刺に残る代表的な平安彫刻。トチ材の木造。お顔を除いて丸ノミの横縞模様が特色で「ナタ彫り」、地天女像の手のひらに支えられています。制作年代は西暦、〇〇年頃。

国指定文化財
木造如意輪観音坐像（複製）
（正法寺本尊）

東北地方における曹洞宗発展の中心となった正法寺の本尊。中国風な特色が表れています。県内に残る鎌倉彫刻の優れた作。制作年代は13世紀後半から14世紀初め。



国指定文化財
聖観音菩薩画像（複製）
（伊手尾山観音堂）

永正九年（一五一一）の銘。杉板に描かれた本格的な仏画。美しくやさしいお顔で、つばみの蓮華を持っています。



国指定重要文化財
銅龍頭（複製）
（極楽寺）

現北上市の極楽寺蔵。法要の時に使用したもので、竿の先に掲げ、小さな孔から紐を通して幡を吊り下げます。平安時代後期の作。



国宝 紺紙金銀字交書一切経（複製）

元永二年（1119）江刺郡益沢院で藤原清衡・北方平氏が願主となって書写させたといわれています。紺紙に銀界をひき、金字行と銀字行を交互に書き分けています。高野山金剛峯寺蔵。



市指定文化財
白磁四耳壺
（伝）岩谷堂豊田館跡から出土

平泉藤原氏初代清衡とその父経清が居住していたとされる豊田館跡から出土。中国産の陶磁器で、お経を納めて埋めたものと考えられます。四つの耳のような飾りと白い光沢が特徴です。



なか ぜん かん のん
市指定文化財 中善観音

中善観音は、江戸時代中期に京都で彫刻された百観音（西国・坂東・秩父）に丈余の聖観音を加えた百一体の観音像。明治45年以来、岩谷堂の小原家が保存に万全を尽して「中善観音」の通称で親しまれ信仰されてきている。



西国三十三観音像

観音霊場発祥の地。和歌山・京都・大阪・奈良・兵庫・滋賀・岐阜の近畿二府五県にわたる観音像。



秩父三十四観音像

埼玉県秩父郡六市町村の秩父三十四札所。西国三十三札所、坂東三十三札所とともに、日本百観音に数えられています。



坂東三十三観音像

神奈川・東京・埼玉・群馬・栃木・茨城・千葉の都六県にわたる観音像。



国指定重要文化財
木造薬師如来坐像（複製）
（黒石寺）

貞観四年（八六二）造像の銘があり、木造仏としてはわが国最古といわれています。カワラ材の木造。左手に薬壺を、光背に七体の化仏をつけています。